

12月23日 (水) **沖縄県文化協会賞伝達式**



地域の文化振興に貢献した個人・団体を表彰する令和2年度沖縄県文化協会賞の伝達式が町役場で開催され、西原町文化協会の会員2名・1団体へ表彰状が授与されました。受賞したのは、**功労賞** 仲間秀雄(なかまひでお)さん(民謡:翁長)、**奨励賞** 泉川寛光(いずみかわかんこう)さん(組踊:小那覇)、**団体賞** 茶道部会(仲宗根三枝(なかそねみつえ)代表)で、崎原盛秀町長は「皆さんの長年の功績が認められおめでとうございます。これからも頑張っていたください」と讃えました。町文化協会山田武(やまだたけし)会長は「コロナ禍で文化活動が停止する中、授賞式も中止になり、町で伝達表彰を行っていただき感謝します。来年はきっといい方向に文化芸術活動が活発に行われると期待します」とあいさつしました。

1月5日 (火) **商工会から 町社協フードバンク事業へ寄贈**



町社会福祉協議会では、生活に困っている方への一助として、フードバンク事業(食糧支援)を行っています。しかし、コロナ禍が長引き事業財源の確保が難しくなっている現状を受けて、町商工会では会員から寄付を募り、集まった1,414,000円並びに食料品を寄贈しました。仲松政治(なかまつまさじ)商工会会長は「会員に呼びかけ、たくさんの方の寄付を頂きました。困っているときはみんなで協力して、ともに頑張りましょう」とあいさつしました。寄贈を受けた大城幸哉(おおしろゆきや)社会福祉協議会会長は「商工会の皆様迅速な取り組みに感謝しています。寄付していただいた皆様の社会奉仕の心が大変助けられています」と述べました。

1月6日 (水) **東部消防組合 消防出初式**



令和3年東部消防組合「消防出初式」が同組合本部構内で開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響で規模を縮小しての実施となりましたが、管理者による特別点検や表彰、消防職員と消防団員による合同一斉放水が行われました。東部消防組合管理者の照屋勉(てるやつとむ)と那原町長は、「新年を迎えるにあたって、災害のない安全安心なまちづくりに向かって職員一同邁進していきます」と抱負を述べました。

11月22日 (日) **上原子ども会 エイサーで道ジュネー**



上原子ども会のメンバーが上原内の4つの公園を回り、家族や親戚、地域の人が集まる中元気いっばいにエイサーを披露しました。石原昌貴(いしはらまさき)自治会長は「新型コロナウイルス感染症の影響で毎年恒例の夏祭りなどの行事がなくなる中で、子どもたちの思い出作りのために何かしたいと企画しました」と思いを述べ、石原昌弥(いしはらしょうや)さん(坂田小6年)は「人がいっぱいいて緊張したけど、ちゃんとできたのでよかったです」と笑顔を見せました。



11月30日 (月) **坂田小学校児童会 県退職校長会より表彰**



坂田小学校で表彰朝会が行われ、学業やスポーツなど様々な場面で優秀な成績を取った児童が表彰されました。中でも、同校児童会が長年朝のあいさつ運動や西原の塔清掃活動を行っていることを評価し、沖縄県退職校長会山田稔(やまだみのる)会長より「第22回善行児童生徒表彰」が行われました。児童会長の池間有彩(いけまありさ)さんは「これからも下級生のお手本となるような行いをしていきたいです」と笑顔を見せました。

12月15日 (火) **中央公民館で戦後75年資料展**



戦後75年資料展が町中央公民館で開催され、戦後75年年表や沖縄県内に400以上ある慰霊塔・碑の内360カ所についての資料が展示されました。展示を見るために訪れた坂田幼稚園の園児に、多和田祥子(たわたししょうこ)副園長が「慰霊の塔ってなにが願われているのかな」と聞いかけると、園児から「戦争がもう起こらないように」、「みんなが幸せになりますように」などの声があがりました。

11月19日 (木) **琉球デイゴス 九州選手権大会優勝**



西原町民陸上競技場で練習を行っている全保連琉球デイゴスが町役場を訪れ、女子サッカー第38回九州選手権大会で優勝したことを報告しました。同チームは九州代表として全国大会に出場します。崎原盛秀町長は「仕事もしながら両立して輝かしい功績をおさめたことがすばらしいです。全国大会でも優勝目指して頑張ってください」と激励しました。

11月20日 (金) **西原東小5年生 船だまり周辺で清掃活動**



環境問題について学ぼうと、西原東小5年生の児童が船だまりを訪れ清掃活動を行いました。児童はまず、どんなゴミが落ちているのか、どの国のものかなどを調査し、その後空き缶やペットボトル、たばこの吸殻などを拾いながら素材を確認し、種類ごとに分別していました。仲宗根悠日都(なかそねはると)さん・新里祐生(しんざとゆう)さん・又吉空音(またよしあのん)さんのグループは「空き缶がたくさん落ちていた。何で海に捨てるのかなと悲しく思う。西原町をもっときれいにしたい」と感想を話していました。



11月20日 (金) **石川酒造場 玉友齋仕込 初代ブレンダー・オブ・ザ・イヤー W受賞**



株式会社石川酒造場(大城俊男(おおしろとしお)代表取締役)でブレンドを担当する石川由美子(いしかわゆみこ)さんが町役場を訪れ、「玉友齋仕込秘蔵古酒」が2020年度泡盛鑑評会で県知事賞を受賞したこと、また、ブレンドで製造されたお酒のうち最も品質が優れた泡盛のブレンド担当者を選ぶ、「泡盛ブレンダー・オブ・ザ・イヤー」の初代に選ばれたことを報告しました。石川さんは「それぞれの持っている良さをブレンドすることで、新しい良さを引き出すことができました」と笑顔を見せました。崎原盛秀町長は「地元西原のお酒が、そしてブレンダーがすばらしい賞を受賞したことをとても誇りに思います」と讃えました。

11月9日(月)~15日(日) **住宅用火災警報器の設置促進活動**



東部消防組合消防本部では、火災による犠牲者をなくすため、戸別訪問を中心とした住宅用火災警報器の設置及び維持管理の普及促進を行っています。今回、秋の全国火災予防週間に伴い、兼久区を中心に住宅用火災警報器の普及啓発及び設置調査を行いました。まだ設置されていないご家庭は、住宅火災から大切な命を守るために、一日も早く設置しましょう。

調査世帯 487世帯 設置率 55.8%



11月13日 (金) **西原中学校 まちづくりを学ぶ**



「西原町のまちづくりを再考しよう」をテーマに、地方自治について学ぶ研究授業が西原中学校3年5組(川満信幸(かわみつのぶゆき)先生)で行われました。生徒は、町役場企画財政課入田里幸治(いりたさとこうじ)係長によるアドバイスを受けながら、町を活性化するアイデアを発表しました。発表では、防犯・環境を考えた「LED・ソーラーパネルを利用した街灯を設置する」、健康づくりを考えた「30分以上運動したらポイントがたまり、町内で使える割引券と交換できる」などの案がでました。比嘉玲菜(ひがれな)さんは「まちづくりを考えるのは難しかったけど、いろいろな視点から考えることができました。この経験を勉強にも活かしたいです」と笑顔を見せました。

11月18日 (水) **新型コロナ対策に役立てて**



眞協和(照喜名悟(てるきなさとる)代表)より、手・指・マスクなどの除菌に使える「ちゅら除菌」330Lの寄贈がありました。照喜名代表は「これまで県内市町村に寄贈を行ってききましたが、今回縁があって西原町に寄贈となりました。ぜひご活用いただけたらと思います」と笑顔を見せました。崎原盛秀町長は「図書館や公民館などで活用させていただきます。温かいご支援に感謝します」と感謝を述べました。